

令和5年1月

関係各位

主催者代表
岩手大学平泉文化研究センター長

第3回平泉学研究会のご案内

平泉文化研究の成果発表の場として、岩手大学や岩手県などが主催し毎年度開催しております標記研究会につきまして、今年度は下記により開催することといたしました。

つきましては、平泉を研究される多くのみなさまの御参加をお待ちしております。

記

- 1 日時 令和5年2月4日(土) 午後1時～4時 (午後0時30分受付開始)
- 2 主催 岩手大学、岩手大学平泉文化研究センター
岩手県、岩手県教育委員会、岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター
- 3 会場 岩手大学北桐ホール(総合教育研究棟(教育系))
020-8550 盛岡市上田3丁目18-33
- 4 内容等 別紙のとおり。
- 5 参加申込
 - ①会場参加の場合 当日受付(事前申込不要)
手指消毒、マスクの着用の御協力をお願いします。
感染症罹患が疑われた場合、入場をお断りすることがあります。
 - ②オンライン参加の場合 要事前申込(Zoomのリンク先をお知らせします。)
下記連絡先までメールにてお申し込みください。
(申込締切:令和5年1月27日(金))
- 6 参加費 無料
- 7 その他 ○新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、開催方法等を変更する場合があります。下記のウェブサイトでご確認ください。
岩手大学: <https://chs.iwate-u.ac.jp/>
岩手県: <https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/>
○研究会翌日の2月5日(日)には、第3回平泉学フォーラムを開催する予定です。<https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/>
あわせて御参加ください。

連絡先: 岩手大学平泉文化研究センター
客員教授 佐藤嘉広
mail: yoshisat@iwate-u.ac.jp

別紙

第3回平泉学研究会内容及び次第

- 13:00 開会行事
- 13:10 事務連絡
- 13:15 研究報告1 「柳之御所遺跡の考古学的研究」
西澤正晴 ((公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター)
- 13:45 研究報告2 「平泉の彼岸と此岸の造形に係る比較研究
-防災の観点から見る平泉の景観-」
岡田健 (奈良大学 (国立文化財機構東京文化財研究所))
- 14:15 休憩・換気
- 14:30 研究報告3 「出土文字資料の集成的研究」
三上喜孝 (国立歴史民俗博物館)
- 15:00 研究報告4 「東・北アジアにおける政治拠点と平泉との比較研究」
ア 日本の地方政治拠点と平泉(1)
佐藤嘉広 (岩手大学平泉文化研究センター)
イ 奥州藤原氏の『拠点づくり』の考え方とその影響 (3)
—扶余の事例を中心に—
戸根貴之 (岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター)
- 15:40 研究報告5 「日本の学校における世界遺産の教材化についての研究」
ア デジタル教材 (アニメーション) づくりへの取り組みについて
土屋直人 (岩手大学教育学部)
イ 古典文学『おくのほそ道』の新たな教材化のために
—現地平泉の取材を活かして—
田中成行 (岩手大学平泉文化研究センター)
- 16:00 閉会行事